

## 積雪や塩害に強い太陽電池の架台 ヤブシタが全国販売



空調システム関連部材メーカーのヤブシタ（飯館市）は、一般家庭用、産業用向けに太陽電池パネル架台を開発、3日から東京ビッグサイトで開催する「PV EXPO 2010」に出展する。今回の展示は、積雪寒冷地、塩害などが北海道の厳しい環境で培った開発技術から生まれた太陽電池の架台。国内初の

一般水平軌跡太陽光追尾システムの架台、積雪地域対応型システム架台、入射角度可変システム架台など。

太陽光追尾システム（トラッキングシステム）は、北海道稚内市の稚内メガソーラープロジェクトで実証実験しており、太陽光パネルの角度を時刻、位置座標などから算出制御し、東西に最大60度の範囲で太陽光を追尾できる。

また、積雪地域対応型システム（スタンダード）は、無落雪住宅、ビル、マンションなどで実用化しており、それぞれの屋

根などの形状に合わせ設計、施工を提案する。江別市役所の壁面・太陽光発電システムの架台に採用し写真、発電効率を実証実験で繰り返されている。

同社は1963年設立。これまで三菱電機のエアロンの室外ユニットに装着する架台、防水防雪フード・ネットなどの製造、販売、工事を実施してきた。「この架台技術を、太陽光発電システムに導入して、発電効率の向上、積雪寒冷地や塩害地域など利活用したい」（森忠裕社長）と、「PV EXPO」から全国に発信したいとしている。